

新潟市学校事務研究協議会

令和6年度

総会・研修会要項



令和6年5月16日（木）

江南区文化会館 音楽演劇ホール

主 催 新潟市学校事務研究協議会

後 援 新潟市教育委員会

全体進行  
事務局 近藤 美香

## 1 総 会

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 来賓挨拶 新潟市教育委員会 学校人事課長 山本 郁雄 様  
新潟市小学校長会 会長 吉田 亨 様  
新潟市中学校長会 会長 渡邊 昌彦 様

(4) 議長選出 (西蒲区より選出)

(5) 議 事 ①令和5年度活動報告  
②令和5年度会計報告・監査報告  
③令和6年度役員選出  
④令和6年度活動計画案  
⑤令和6年度予算案

(6) 議長退任

(7) 閉 会

## 2 研 修 会

講 話 全国公立小中学校事務職員研究会 会長 前田 雄仁 様

## 3 諸 連 絡

### 【日 程】

13:30 14:00 15:00 15:10 16:30 16:40

受付	総会	助成金 贈 呈	休憩	研修会	諸連絡 閉 会
----	----	------------	----	-----	------------

## 令和5年度 事業報告

日程 ・ 会場	会 議	内 容
5月24日(水) 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ、活動方針・役員組織・総会について検討 新役員の会長推薦
5月25日(木)～8月4日 (金) オンライン	全事研セミナー	講義「リーダーシップと組織開発」／全国研究大会福井大会案内
6月21日(水) オンライン	研修セミナー	講話「学校はなにをすることで？どうする、学校事務職員—ワイガヤでアイデアを動かしていこう—」
6月22日(木) ANAクラウンプラザホテル	新潟教弘との懇談会	令和5年度新潟教弘の事業について／新事研、新潟市事研の活動の様子等／新潟教弘の事業に対する質問、要望等
6月26日(月) ※書面議決	総会	議事 活動報告、会計報告、活動計画、役員・予算書案の承認
6月30日(金) 総会議決結果配信		
7月14日(金) 新学協本部会議室	第1回役員会	令和5年度活動について検討、役員研修会
7月20日(木) 江南区文化会館	第1回全体研修会	本研修会のねらい・今年度1年間の研究研修活動について、グランドデザイン解説編について
8月2日(水) オンライン+参集(福井県)	全事研総会	議事 活動報告、決算報告・監査報告、役員選出、活動計画、予算審議等
8月3日(木)～4日(金) オンライン+参集(福井県)	全事研福井大会	文部科学省行政説明/活動報告/全体研究会/分科会/シンポジウム
8月9日(水)～10日(木) (岡山県)	政令指定都市学校事務職員研究協議会	分科会協議／全体会(分科会報告)
9月21日(木) 新学協本部会議室	第2回理事会	第2回全体研修会について
10月5日(木) 新学協本部会議室	第2回役員会	第1回全体研修会反省、第2回全体研修会・運営の確認
11月2日(木) 新潟市陸上競技場 オンライン+参集	研修セミナー	学校経営担当職員としての教育DX(校務DX)推進セミナー
11月17日(金) 新潟市生涯学習センター	全事研新潟支部事務連絡会	協議 活動中間報告、会計中間報告、意見交換
	厚生財団、新学協・教育用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等(新事研と合同)
12月14日(木) デンカビッグスワン	第2回全体研修会	『社会が変わる！学校が変わる！「わたし」はどうしたいですか？ ～セルフトークでFF型目標設定～』
1月18日(木) 新学協本部会議室	第3回理事会	組織見直し案、令和6年度以降の研究部の活動、役員の進退について
2月15日(木) (東京都)	全事研評議員会	全事研評議員会
2月16日(金) オンライン+参集(東京都)	全事研セミナー	文科省行政説明／全国大会PR／全事研活動報告／講義
2月21日(水) 新学協本部会議室	第4回理事会 第3回役員会	役員案検討／R6年度研修について、役員研修、部会
3月28日(木) 岡方第一小学校	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

令和5年度 事務局 活動評価

活動目標	各部と連携し、円滑な組織運営に努める。
------	---------------------

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
全体運営、事務局の活動評価	○新潟市事研全体の総括※会長、副会長と連携	【成果】 ・活動計画に沿って、円滑に運営できた。 ・事務局内の活動評価を実施し、全員で検証することができた。
	○年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理	【課題】 ・各業務が担当任せになってしまい、負担がかかってしまった。
	○事務局の活動評価の実施および考察	【次年度へ】 ・常に最新の情報を全員が共有可能なマニュアルやスケジュール管理方法を今後検討する必要がある。 ・円滑な組織運営に向けて、事務局内の業務については、C4t h等での連絡を含めて、常に事務局員全員で情報を共有する形を取り、担当を全員で支える体制づくりを進めていく必要がある。
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	○理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録	【成果】 ・役割分担が明確に行われ、各々が滞りなく準備を進めることができた。
	○役員会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録	【課題】 ・理事会や役員会の開催日について、理事や役員に対して年度当初に年間のスケジュール確認を行うことができなかったため、全員が参加できないことがあった。
	○総会の準備、運営	【次年度へ】 ・総会を書面議決から参集で行う形に変更するため、企画等も含めて、役員全員で迅速な情報共有を図る必要がある。 ・理事会や役員会の実施については、予定作成の段階で参加対象者の予定を確認し、実施日時や会場などはある程度事前に決めておくことも検討する。（可能であれば、1年間分をまとめて決定し、各々が年度当初に予定に入れておく。）
会計・名簿・会員情報管理	○予算書立案及び執行管理、会計監査対応	【成果】 ・会計の執行管理および各種助成金の申請や報告については、滞りなく処理することができた。
	○各種団体への助成金申請、報告書提出	【課題】 ・年度当初の会員情報集約時に、未報告の会員への確認に時間がかかった。
	○会員名簿の作成及び管理、会費集金業務	【次年度へ】 ・予算策定の際に、各部から予算要求をしてもらい、必要な予算を必要な部に配当する。 ・会員情報の集約方法を各自がgoogleフォームへ入力する形に変更する。スムーズな移行ができるように、入力フォームの準備などを速やかに進めていく必要がある。
記録・情報収集及び会員への連絡	○各種会議の記録	【成果】 ・各種会議記録が作成され、理事及び役員で情報共有ができた。 ・要覧を作成し、HPへの掲載をとおして、会員に周知することができた。 ・会員への連絡は、C4t hを活用することで、事務局から会員へ迅速に行うことができた。
	○要覧（沿革）の作成、活動記録・会則・組織図の保管	【次年度へ】 ・新潟市事研組織について、これまで以上に広報活動を進めていくため、要覧の体裁や内容について、改めて見直しを図るなど検討を行う必要がある。
	○会員への連絡	
他団体連絡体制の構築	○全事研新潟支部（新事研）との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力	【成果】 ・全事研関係の連絡はその都度会員へ配信することができた。 ・新事研との交流により、相互補完が図れた。
	○他団体との連携	【次年度へ】 ・全事研新潟支部の一部業務（全事研から届くメール窓口業務）が新事研から新潟市事研に移行するため、スムーズな対応ができるよう、体制整備を進める必要がある。

令和5年度 研究部 活動評価

活動目標	全会員で研究テーマに迫る方法を探る ～「共感」を呼ぶ未来デザイン～
------	-----------------------------------

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
学校経営参画等に関する調査・分析	社会の動きや変化を踏まえて調査項目の検討を行い、調査結果から経年変化や意識の変容を確認し、新潟市における学校事務の未来を分析・考察する。	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年変化の様子を収集できた。</li> <li>・昨年度に引き続き、9割以上の高い回答率を得ることができ、信頼性の高い調査結果を会員と共有することができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定性的な項目が多く、調査分析が難しい面があった。</li> <li>・現状把握に留まり、未来志向の調査項目を設定することができなかった。</li> </ul> <p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査は次年度も継続する。</li> <li>・調査の目的を明確にし、調査項目を刷新することも視野に入れる。</li> </ul>
実践事例の収集・分析	会員の新たな実践の参考となるよう、収集した実践をもとにしたデータベースを作成する。また、実践事例の分析を通して、現行のグランドデザインの検証を並行して行い、次期の改訂につなげる。	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員から実践を収集し、実践バンクと称して4回データを会員向けに配信することができた。</li> <li>・実践バンク活用状況アンケートから「実践バンクを見て、自身の実践につながった」という様子が見受けられた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の収集はできたが、グランドデザインの検証・改訂に向けた取組につなげられなかった。</li> </ul> <p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報部と連携し、内容と機能の両方を充実させ「使いたい」と思える実践バンクへとアップデートする。</li> <li>・研究テーマおよびグランドデザイン改訂に向けて検討する。</li> </ul>
各種研修会への参加およびレポート作成	一人でも多くの会員に共感してもらえる提案ができるよう、レポート作成や部内プレゼンといったアウトプットの機会を設定し、部員一人一人の「伝える力」や「まとめる力」のスキルアップを図る。	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究大会の参加レポート作成や調査分析に際し、「伝える」ことを念頭に置いて取り組むことができた。</li> <li>・他者とレポートの内容を比較することで、多様な捉え方があることに気づくことができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な提案に結び付けることができなかった。</li> </ul> <p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の動向や現代の学校を取り巻く状況を踏まえ、これからの学校や学校事務について部内で熟議する。</li> <li>・魅力ある学校事務や学校事務職員の姿について、共感性の高い提案につなげたい。</li> </ul>

令和5年度 研修部 活動評価

活動目標	みんなで、ともに、伝え学び合える場所づくり ～「共創」を生む，Wi11の高まり～
------	---

活動項目	具体的な内容	成果と課題，次年度への方策
「共感・共創」できる，「新潟市事研」での「学び」の機会の充実	○会員ひとりひとりが主体性をもって学び続け，実務や実践につなげられるよう，全体研修会を企画・運営 ※別紙，「研修計画」参照	<b>【成果】</b> ・数年ぶりに参集型で研修会を開催し，会員同士の共有や気付きから，次の一歩へ進むための学びの場とすることができた。 ・新事研との交流がもてた。
	○参加者アンケートの集約と分析により，会員のニーズを把握	<b>【課題】</b> ・研修会の出席率が十分とは言えない。また，欠席者や振り返りのための動画視聴も伸び悩んでいる。
	○会員同士のつながりをもって，フィードバックしあえる場の設定  ○個人のスキルアップのためのセミナーを企画・運営	<b>【次年度へ】</b> ・より会員のニーズに寄り添いながら，新潟市事研でしか体験できない，楽しく学べる研修内容を検討する。 ・開催時期や受講形式の見直しを図る。

令和5年度 広報部 活動評価

活動目標	広報活動を通して新潟市事研の価値を高める。
------	-----------------------

活動項目	具体的な内容	成果と課題，次年度への方策
情報マネジメント	<p>○新潟市事研究会報の発行 組織内の情報循環のため，新潟市事研活動の様子をはじめ，様々な情報を提供する。 (新潟市事研究会報年5回)</p> <p>○HPの運営管理 社会に向けて新潟市事研活動を発信する。 また新潟市事研のデータベースとしての役割を果たす。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報の発行により組織内の情報循環が図れた。</li> <li>・新潟市事研基本データを掲載するなど，HPの内容を充実させた。</li> </ul>
		<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をPRするためにHP掲載内容をさらに充実させる必要がある。</li> </ul>
		<p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き会報を発行し，会員へ有益な情報を提供する。</li> <li>・HPの内容をより充実させ，社会に向けて新潟市事研の活動を発信する。</li> </ul>

令和5年度 新潟市学校事務研究協議会会計 決算書

1 収入の部

△は減

新潟市学校事務研究協議会

	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
繰越金	580,441	580,441	0	前年度からの繰り越し
会費	389,000	403,460	14,460	(会費2,000円×会員191名)+(新事研究会費4,500円×会員4名) +(会費1,000円×賛助会員5名)-振込手数料1,540円
補助金	470,000	470,000	0	弘済会・厚生財団・新学協・教職員共済より研究助成金
雑収入	5	4	△ 1	預金利息
合 計	1,439,446	1,453,905	14,459	

2 支出の部

項	費 目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
運 営 費	会議費	2,000	0	△ 2,000	
	消耗品費	2,000	750	△ 1,250	リングファイル、封筒
	印刷費	148,000	129,800	△ 18,200	グラウンドデザイン、グラウンドデザイン解説編、封筒、名刺
	役務費	150,000	101,760	△ 48,240	ホームページ保守管理費 団体助成申請書・報告書郵送料
	小 計	302,000	232,310	△ 69,690	
運 営 部 活 動 費	事務局費	5,000	374	△ 4,626	事務局旅費
	研究部費	30,000	24,128	△ 5,872	研究部会旅費 2/16全事研セミナー東京旅費補助
	研修部費	30,000	19,472	△ 10,528	研修部会旅費 2/16全事研セミナー東京旅費補助
	広報部費	30,000	8,534	△ 21,466	広報部会旅費 2/16全事研セミナー東京旅費補助
	小 計	95,000	52,508	△ 42,492	
研 修 会 運 営 費	会場費	10,000	43,045	33,045	6/21セミナー会場費 11/2セミナー会場費・接待用お茶 12/14全体研修会会場費・接待用お茶・水・カップ
	報償費・旅費	100,000	34,710	△ 65,290	6/21セミナー講師謝礼 11/2セミナー講師御礼菓子 12/14全体研修会講師謝礼・車代・御礼菓子
	研修会消耗品費	10,000	0	△ 10,000	
	小 計	120,000	77,755	△ 42,245	
研 究 助 成 費	研究会等参加費	45,000	52,500	7,500	8/9~10政令市岡山大会参加負担金 8/2~3全事研福井大会参加費 2/16全事研セミナー参加費
	補助研究費	20,000	8,220	△ 11,780	自主研究助成4件
	小 計	65,000	60,720	△ 4,280	
旅 費	役員旅費	108,000	91,394	△ 16,606	理事会・役員会旅費、セミナー運営旅費、弘済会助成金贈呈式、新潟教弘・新事研・市事研懇談会、新事研との懇談会旅費、政令市連絡会旅費、政令市実行委員会旅費、会計監査旅費
	研究会等参加旅費	245,000	296,656	51,656	8/2~4全事研福井大会旅費(7名) 2/16全事研セミナー東京旅費(3名)
	その他旅費	305,000	236,150	△ 68,850	5/21弘済会助成金贈呈式旅費 8/9~10政令市岡山大会視察旅費(4名)
	小 計	658,000	624,200	△ 33,800	
負 担 金	負担金	192,000	209,000	17,000	令和5年度全事研究会費(1,000円×191名) 令和5年度新事研究会費(4,500円×4名)
	小 計	192,000	209,000	17,000	
予 備 費	予備費	7,446	990	△ 6,456	払い戻し手数料、振込手数料
	小 計	7,446	990	△ 6,456	
合 計	1,439,446	1,257,483	△ 181,963		

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)  
 1,453,905円 - 1,257,483円 = 196,422円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします)  
 上記のとおり報告いたします。 会長 笹川 富美子 印 会計係 鍋倉 佑季 印

令和5年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1 諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2 予算執行が適正であることを認めます。

令和 6 年 3 月 28 日 会計監事 大野 拓真 印 土佐 茉依 印



令和5年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 決算書

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 繰越金	1,080,904	1,080,904	0	前年度繰越金
2 会費	685,000	656,000	△ 29,000	会員1,000円×656名(新潟市191、新潟市以外465)
3 雑収入	49	10,006	9,957	北越地区補助金
合計	1,765,953	1,746,910	△ 19,043	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 運営費	70,000	2,270	△ 67,730	
役務費	25,000	2,270	△ 22,730	全事研会報送料、手数料
消耗品費	35,000	0	△ 35,000	
支部活動会場費	10,000	0	△ 10,000	
2 研究助成費	210,000	220,740	10,740	
補助研究費	210,000	220,740	10,740	全事研分科会発表に伴う研究活動費、全事研福井大会参加補助(2,000円×20名)全事研セミナー参加奨励金(1,000×29名)
3 旅費	810,000	662,634	△ 147,366	
全事研役員旅費	120,000	69,584	△ 50,416	全事研総会、全事研評議員会
大会派遣旅費	600,000	529,500	△ 70,500	全事研福井大会派遣
支部活動旅費	90,000	63,550	△ 26,450	全事研新潟支部事務局交流会、全事研新潟支部実践交流会
4 会費・負担金	325,000	320,000	△ 5,000	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費(320名分)
北越地区負担金	5,000	0	△ 5,000	
5 予備費	350,953	0	△ 350,953	
予備費	350,953	0	△ 350,953	
合計	1,765,953	1,205,644	△ 560,309	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)

1,746,910円 - 1,205,644円 = 541,266円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします。)

上記のとおり報告いたします。 会長 高橋 睦美 印 会計係 押味 大樹 印

令和5年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

1、諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

2、予算執行が適正であることを認めます。

令和6年3月6日 会計監事 清水 邦子 印 工藤 美由紀 印

## 令和6年度 新潟市学校事務研究協議会 役員名簿(案)

会長	佐野 公則 (東新潟中学校) 政令市事務研新潟市代表、教職員共済幹事	
副会長	竹石 幸代 (小針中学校) 全事研新潟支部評議員	川崎 美幸 (東山の下小学校) 新学協常任理事
会計監事	白石 舞 (岡方第二小学校)	梅澤 可愛美 (南浜中学校)

顧問	風間 和子 (鳥屋野中学校)	松野 千恵美 (白根第一中学校)
----	----------------	------------------

	事務局
局長	田邊 直人 (新津第二中学校)
次長	領家 万里子 (根岸小学校)
局員	松宮 信人 (笠木小学校)
	片岡 秀介 (山田小学校)
	大野 拓真 (山潟中学校)
	田中 里歩 (味方中学校)

	研究部	研修部	広報部
部長	神田 千春 (西特別支援学校)	加藤 恵子 (内野小学校)	丸谷 大貴 (新津第三小学校)
副部長	知桐 碧 (黒崎中学校)	岡村 昇 (女池小学校)	狩谷 美明 (新通つばさ小学校)
部員	池田 杏菜 (亀田西小学校)	松野 桃子 (浜浦小学校)	山田 紗瑛 (中野山小学校)
	飯塚 恵 (坂井輪小学校)	友野 江里子 (桜が丘小学校)	小檜山 瞳 (万代長嶺小学校)
	岩倉 匠 (白新中学校)	富永 百合子 (和納小学校)	吉原 恵介 (上所小学校)
	田中 真理恵 (亀田西中学校)	駒村 優佳 (光晴中学校)	吉村 ひかり (岡方中学校)

	全国公立小中学校事務職員研究会
研究開発部 理事	恩田 裕也 (東特別支援学校)

### 第41回 政令市指定都市学校事務職員研究協議会 定例会

実行委員長	風間 和子 (鳥屋野中学校)	協力員	
副実行委員長	山崎 奈津子 (東石山中学校)	宮崎 弥紀子 (松浜小学校)	近藤 美香 (大形中学校)
	恩田 裕也 (東特別支援学校)	鍋倉 佑季 (岡方第一小学校)	坂上 匠 (木戸中学校)
実行委員	長野 郁諒 (紫竹山小学校)	渡部 慎 (小針小学校)	谷 謡子 (寄居中学校)
	高橋 加奈子 (石山中学校)	日南田 江利奈 (新通小学校)	皆川 唯花 (白南中学校)
	高橋 拓也 (横越中学校)	阿部 風紗 (濁川中学校)	
	関川 竜太 (巻西中学校)		

## 令和6年度 事業計画 (案)

注) 現時点での活動計画のため延期又は中止等変更になる場合があります。

期日 ・ 会場	会 議	内 容
4月25日(木) 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ, 活動計画・総会について検討
5月16日(木) 江南区文化会館	総会 全体研修会	議事 活動報告, 会計報告, 活動計画, 役員・予算書案の承認 全事研会長講話
6月 新学協本部会議室	第2回理事会 第1回役員会	総会の記録・反省 令和6年度活動について検討
6月 新潟市小・中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	小学校長会, 中学校長会, 弘済会, 新学協, 厚生財団, 教職員共済への事業説明
6月28日(金) 万代市民会館	新潟教弘との懇談会	新潟教弘の事業について/新事研, 新潟市事研の活動の様子等/ 新潟教弘の事業に対する質問, 要望等
7月29日(月)~30日(火) 万代シルバーホテル 東新潟中学校	政令指定都市学校事務 職員研究協議会	分科会協議/全体会(分科会報告)
8月8日(木) 埼玉県	全事研総会	議事 活動報告, 決算報告・監査報告, 役員選出, 活動計画, 予算審議等
8月9日(金) 埼玉県 埼玉会館	全事研埼玉大会	文部科学省行政説明/全体研究会/分科会/シンポジウム
9月 新学協本部会議室	第3回理事会 第2回役員会	研修セミナーの企画及び運営計画の検討
11月15日(金) 新潟市生涯学習センター	全事研新潟支部事務連絡会 厚生財団、新学協・教育用品事務連絡会	協議 活動中間報告, 会計中間報告, 意見交換 各団体事業説明・意見交換等(新事研と合同)
1月 新学協本部会議室	第4回理事会	全体研修のまとめと今後の活動検討
1月 新学協本部会議室	第3回役員会	活動反省, 次年度の活動計画
2月13日(木) 関東近郊	全事研評議員会	全事研評議員会
2月14日(金) 関東近郊	全事研セミナー	文科省行政説明/全国大会PR/全事研活動報告/講義
3月	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

令和6年度 事務局活動計画（案）

活動目標	各部と連携し、円滑な組織運営に努める。
------	---------------------

活動項目	具体的な内容
全体運営，事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市事研全体の総括 ※会長，副会長との連携</li> <li>・年間スケジュールの管理 事務局マニュアル整理</li> <li>・活動評価の実施および考察</li> </ul>
総会及び研修会・各種会議の準備，運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会の準備・運営 会場予約，日程調整，派遣依頼，記録</li> <li>・役員会の準備，運営 会場予約，日程調整，派遣依頼，記録</li> <li>・総会の準備，運営</li> </ul>
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書立案及び執行管理，会計監査対応</li> <li>・各種団体への助成金申請，報告書提出</li> <li>・会員名簿の作成及び管理，会費集金業務</li> </ul>
記録・情報収集及び会員への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議の記録</li> <li>・要覧（沿革）の作成，活動記録・会則・組織図の保管</li> <li>・会員への連絡</li> </ul>
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部（新事研）との窓口 新事研会員の取りまとめ 全事研等各種調査への協力</li> <li>・他団体との連携</li> </ul>

令和6年度 研究部活動計画（案）

活動目標	全会員で研究テーマに迫る方法を探る ～「共感」を呼ぶ未来デザイン～
------	--------------------------------------

活動項目	具体的な内容
学校経営参画等に関する調査・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の動きや現状を踏まえながら，調査項目を検討する。</li> <li>・調査結果から経年変化や実態について分析をし，会員へ情報を提供する。</li> <li>・調査結果から新潟市における学校事務の未来を考察する。</li> </ul>
新たな研究テーマの策定およびグランドデザインの改訂に向けた研究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの学校事務や学校事務職員の在り方について熟議する。</li> <li>・新しい研究テーマや今後の研究活動について，会員からの意見を収集する機会を設ける。</li> <li>・社会や今後の教育の動向を踏まえ，学校経営参画等に関する調査結果を参考にしながら，グランドデザインの改訂に向けて取り組む。</li> </ul>
他研究団体との連携および各種研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政令指定都市学校事務職員研究協議会定例会に向けた準備をする。</li> <li>・新潟県学校事務研究協議会と連携し，令和7年度の北越地区公立小中学校事務研究会大会（富山大会）に向けた準備をする。</li> <li>・各種研修会に参加し，レポートを作成する。</li> </ul>

## 令和6年度 研修部活動計画（案）

活動目標	会員に，将来必要とされるスキルや知識を得る場を提供するだけでなく，会員相互のつながりや新たな気づきを生み出す。 (未来志向型・対話体験型研修会の企画運営)
------	--

活動項目	具体的な内容
全体研修会の企画運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修会を企画・運営する。</li> <li>・参加者アンケートを集約・考察する。</li> <li>・役員アンケートを集約し，改善事項を検討する。</li> </ul>
セミナーの企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーを企画・運営する。</li> <li>・講師と連絡調整を行う。</li> <li>・会場と連絡調整し，会場を設営する。</li> <li>・参加者アンケートの集約と分析により，会員のニーズを把握する。</li> </ul>

新潟市教育ビジョン達成に向けて 学校の新しい風になろう

◆新潟市学校事務研究協議会がめざす学校事務職員像

MVPsとして

地域とともにある学校  
学校を核とした地域

づくりを推進する学校事務職員

「事務をつかさどる」職である私たちは、一人一人が当事者として課題に向き合い協働します。新しい価値を創る「個の違い」を大切に、やる気と熱意をもって行動し、学び続けます。  
※グランドデザインより

◇新潟市事研での「学び」

新潟市学校事務研究協議会での「学び」には、意識改革と広がり・つながりがあります。一人一人なりたいたい姿や成長したいという思いを大切に、個のキャリアビジョン形成と組織全体の活性化につなげます。

◇令和6年度の「学び」

- ・時代を見据え、これから必要とされるスキルや知識の習得
- ・つながり、対話、体験を意識した研修スタイル

今年度のイメージ図



◇1年間の「学び」の機会

年間	時期・会場
新潟市事研 全体研修会(総会同日)※全員参加	5月16日(木) 江南区文化会館
新潟市事研 研修部主催セミナー	8月以降を予定 後日詳細
他県他市の研究会・研究協議会の研修※各自申込	随時、事務局・広報部より案内

◆新潟市がめざす学校事務職員像 『実践力・マネジメント力・人間力を兼ね備えた使命感あふれる事務職員』



## 令和6年度 広報部活動計画（案）

活動目標	広報活動を通して新潟市事研の価値を高める。
------	-----------------------

活動項目	具体的な内容
情報マネジメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟市事研究会報の発行 組織内の情報循環のため、新潟市事研活動の様子をはじめ、様々な情報を提供する。</li><li>・HPの運営管理 HPを通じて新潟市事研活動を社会に向けて発信する。</li><li>・実践事例の収集と発信 会員から実践を収集し、実践事例のデータベース（実践バンク）の更新と内容の充実を図る。</li></ul>



# 令和6年度 新潟市学校事務研究協議会 予算書 (案)

## 1 収入の部

△は減 (単位:円)

	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
繰越金	196,422	580,441	△ 384,019	前年度からの繰越
会費	347,000	389,000	△ 42,000	会員2,000円×171名, 賛助会員1,000円×5名
補助金	750,000	470,000	280,000	弘済会・厚生財団・新学協・教職員共済より研究 助成金・政令市研究会助成金
雑収入	78	5	73	預金利息等
合 計	1,293,500	1,439,446	△ 145,946	

## 2 支出の部

△は減 (単位:円)

項	費 目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
運 営 費	会議費	2,000	2,000	0	事務連絡会参加補助費
	消耗品費	2,000	2,000	0	封筒, 用紙, ファイル
	印刷費	50,000	148,000	△ 98,000	封筒, 名刺
	役務費	103,100	150,000	△ 46,900	郵送料, ホームページ保守管理費
	小 計	157,100	302,000	△ 144,900	
運 営 部 活 動 費	事務局費	20,000	5,000	15,000	事務局会旅費, 活動費
	研究部費	45,000	30,000	15,000	研究部会旅費, 活動費
	研修部費	45,000	30,000	15,000	研修部会旅費, 活動費
	広報部費	45,000	30,000	15,000	広報部会旅費, 活動費
小 計	155,000	95,000	60,000		
研 修 会 運 営 費	会場費	10,000	10,000	0	セミナー会場使用料, 接待茶
	報償費・旅費	98,000	100,000	△ 2,000	講師謝礼・旅費
	研究会消耗品費	10,000	10,000	0	消耗品
	小 計	118,000	120,000	△ 2,000	
研 究 助 成 費	研究会等参加費	45,000	45,000	0	研究会等参加費・資料代
	補助研究費	20,000	20,000	0	自主研究助成
	小 計	65,000	65,000	0	
旅 費	役員旅費	130,000	108,000	22,000	会計監査旅費(2名), 理事会旅費(約17名×4回), 役員会旅費(約29名×3回), 政令市定例会実行委 員会(7名×約3回), 研修会・セミナー役員旅費
	研究会等参加旅費	169,000	245,000	△ 76,000	研究会等参加旅費
	その他旅費	5,000	305,000	△ 300,000	挨拶回り駐車場代, ガソリン代, 来賓旅費
	小 計	304,000	658,000	△ 354,000	
負 担 金	負担金	171,000	192,000	△ 21,000	令和6年度全事研会費(1,000円×171名)
	小 計	171,000	192,000	△ 21,000	
研 政 令 市 研 究 会	活動費	280,000	0	280,000	政令市研究会会場費・消耗品 ほか
	小 計	280,000	0	280,000	
	予備費	43,400	7,446	35,954	払出手数料・振込手数料 ほか
	合 計	1,293,500	1,439,446	△ 145,946	

# 新潟市学校事務研究協議会会則(案)

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は新潟市学校事務研究協議会と称する。

(本部)

第2条 本会の本部は会長の勤務する学校に置く。事務局は事務局長の勤務する学校に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の連絡提携を密にし、学校教育充実のため学校事務職員としての職務能力を高め、学校事務の向上に努めることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学校事務の研究, 調査に関する事。
- (2) 会員の研修に関する事。
- (3) 会員の地位向上に関する事。
- (4) 本会と目的を共有する他団体との連絡提携に関する事。
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項に関する事。

## 第2章 組 織

(会員)

第5条 本会は新潟市公立学校の事務職員をもって構成する。

2 会員以外で本会の趣旨に賛同する者を賛助会員とする。

## 第3章 機 関

(機関の設置)

第6条 本会は次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 役員会

(総会)

第7条 総会は本会の最高議決機関で、全会員をもって構成する。

2 総会の成立は会員の過半数の出席とし、決議は出席者の過半数とする。

3 総会は毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めた時及び理事会の要請があった場合、または会員の3分の2以上の要求がある時は臨時に開催することができる。

4 総会の議決事項は次のとおりとする。

- (1) 会則の改正
- (2) 事業計画の審議・事業報告の承認
- (3) 予算の審議・決算の承認

- (4) 役員の承認
  - (5) その他重要な事項
- (理事会)

第8条 本会の会務を執行するため理事会を置く。

- 2 理事会は会長、副会長、理事及び事務局員、顧問をもって構成する。理事は、事務局長、事務局次長及び専門部長、専門部副部長とする。また必要により理事会に助言者等を招致することができる。
- (事務局・専門部)

第9条 前条に掲げる理事会に事務局と次の専門部を置く。

- (1) 事務局
  - (2) 研究部
  - (3) 研修部
  - (4) 広報部
- 2 前項の局に局長及び次長を、部に部長及び副部長を置く。
  - 3 事務局・研究部・研修部・広報部は細則で定めた事項を行う。
  - 4 専門部には必要により助言者等を招致することができる。

## 第4章 役員

(役員の種類と選出方法)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1～2名
  - (3) 理事 8名
  - (4) 専門部員 15名程度
- 2 役員の選出は次の方法による。
    - (1) 会長及び副会長は理事会が推薦し、総会において承認を受ける。
    - (2) 理事は会長が推薦し、総会で承認を受ける。
    - (3) 事務局の局員、研究部・研修部・広報部の部員は、立候補及び推薦による候補者の中から理事会が選出し、会長が委嘱する。
  - 3 役員は会計監事を兼ねることができない。

(会計監事)

第11条 本会に会計監事2名を置く。

- 2 会計監事は会長が推薦し、総会において承認を受ける。
- 3 会計監事は役員を兼ねることができない。

(顧問)

第12条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(任務)

第13条 役員、会計監事及び顧問の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長の事故ある時はこれを代理する。
- (3) 事務局長、専門部長は事務局並びに各部の業務を統括する。事務局次長、専門部副部長は局長並びに部長を補佐し、局長並びに部長に事故ある時はこれを代理する。
- (4) 専門部員は各部の業務を処理する。
- (5) 会計監事は本会の会計を監査し、総会に報告する。
- (6) 顧問は専門的な知識や経験をもって補佐や指導にあたる。**

(任期)

第14条 役員の任期は2年、会計監事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(解任)

第15条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
- (2) その他解任に相当する事項が認められるとき。

## 第5章 会 計

(会費)

第16条 本会の経費は会費及びその他の収入をもってあてる。

(年度)

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

## 第6章 附 則

(細則)

第18条 本会の会務執行に必要な細則は別に定める。

(会則改正)

第19条 本会の会則改正は総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(会則施行)

第20条 本会の会則は平成29年7月19日から施行する。

## 細 則

第1項 事務局並びに専門部の活動は、当該年度の活動計画によることとする。

- (1) 事務局
- (2) 研究部
- (3) 研修部
- (4) 広報部

## 第2項 全国公立小中学校事務職員研究会（以下、「全事研」という。）について

新潟市学校事務研究協議会（以下、「新潟市事研」という。）は新潟県学校事務研究協議会（以下、「新事研」という。）と連携・協議し、全事研新潟県支部として活動する。

- ・全事研の新潟県支部長は、新事研会長がこの任にあたり、新潟市事研の代表者は評議員としてその任にあたる。
- ・全事研の評議員は、全事研の総会及び評議員会に出席し、決議機関員として活動する。また全事研の地区委員会及び新事研との連絡調整にあたる。

## 第3項 北越地区公立小中学校事務職員研究会について

- ・北越地区公立小中学校事務職員研究会の新潟支部長は、新事研会長がこの任にあたり、同評議委員は新事研副会長がこの任にあたる。
- ・新潟支部長及び評議委員は、北越地区公立小中学校事務職員研究会の評議委員会・連絡会に出席し、決議機関員として活動する。

## 第4項 政令指定都市学校事務職員研究協議会について

- ・政令指定都市に共通する課題を研究協議する。
- ・政令指定都市学校事務職員研究協議会定例会の開催地となった場合、現地実行委員会を組織する。

平成30年6月28日改正

令和4年6月27日改正

令和5年6月26日改正

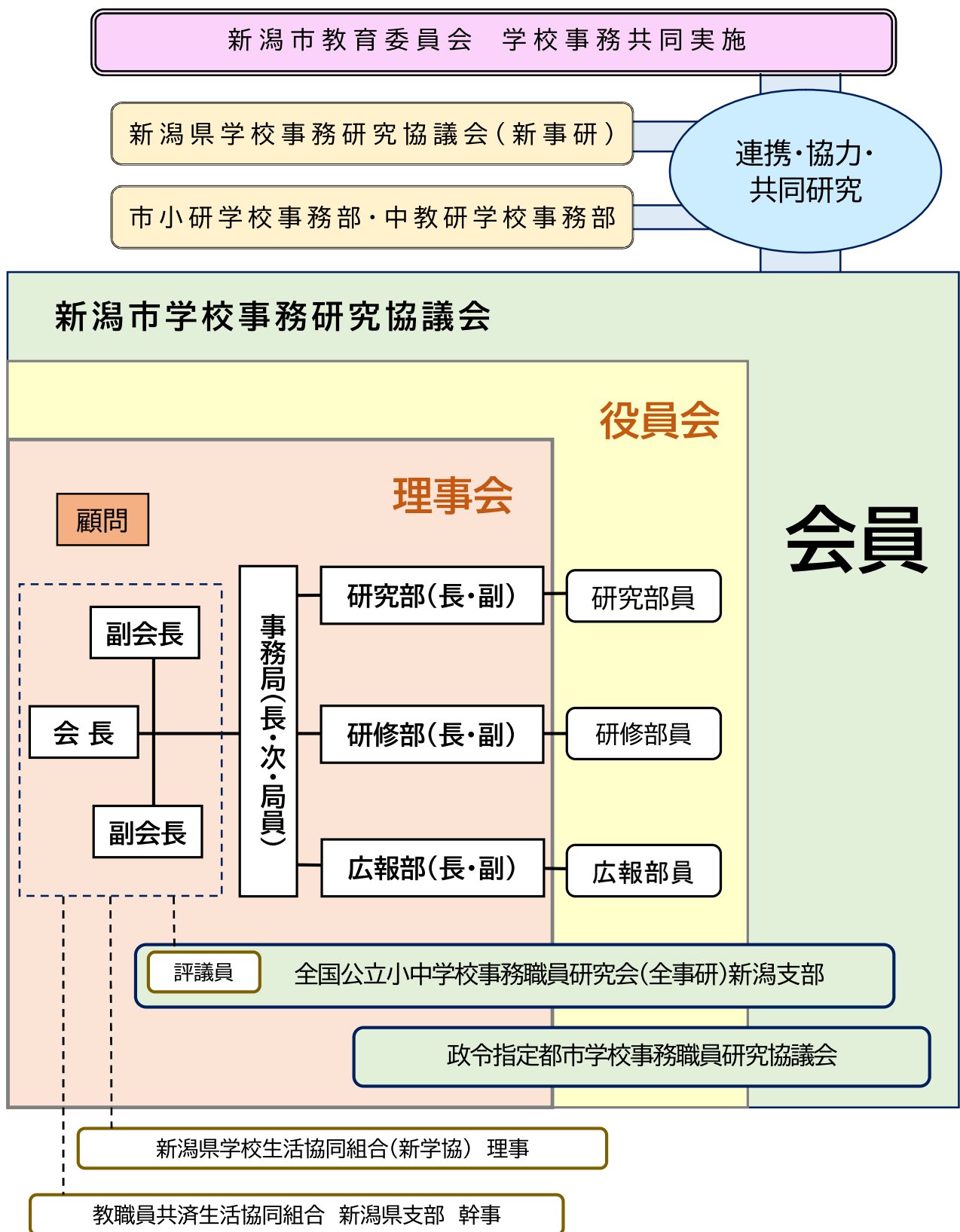
令和6年5月16日改正

## 内規

### ◎ 令和3年度からの担当業務

業務内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
会計監事 (2名)	江南区	中央区	東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区
議長 副議長		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区
議事記録		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区

# 新潟市学校事務研究協議会組織図(案)



令和6年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 予算書 (案)

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項 目	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	付 記
1 繰越金	520,564	1,080,904	△ 560,340	
2 会費	656,000	685,000	△ 29,000	会員1,000円×656名
3 雑収入	36	49	△ 13	預金利息
合 計	1,176,600	1,765,953	△ 589,353	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項 目	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	付 記
1 運営費	55,000	70,000	△ 15,000	
役務費	10,000	25,000	△ 15,000	全事研会報送料
消耗品費	35,000	35,000	0	印刷消耗品
支部活動会場費	10,000	10,000	0	新潟市事研との交流会会場料
2 研究助成費	70,000	210,000	△ 140,000	
補助研究費	70,000	210,000	△ 140,000	全事研セミナー参加奨励金
3 旅費	360,000	810,000	△ 450,000	
全事研役員旅費	120,000	120,000	0	全事研総会、全事研評議員会、北越評議委員会、全事研役員
大会派遣旅費	150,000	600,000	△ 450,000	全事研大会派遣
支部活動旅費	90,000	90,000	0	全事研支部交流活動(研究部3回、総務部1回)
4 会費・負担金	325,000	325,000	0	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費(320名分)
北越地区負担金	5,000	5,000	0	北越地区負担金
5 予備費	366,600	350,953	15,647	
予備費	366,600	350,953	15,647	
合 計	1,176,600	1,765,953	△ 589,353	